

第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001

第61号



PDCAサイクル

PDCAサイクルとは、「仕事をどのような過程で回す事が効率よく業務を行えるようになるか」というビジネス用語です。ちなみに、PDCAとは(Plan:計画)・(Do:実行)・(Check:評価)・(Act:改善)の頭文字をつなげたものです。これは、ビジネス用語として有名ですが、ビジネスだけでなく、皆さんの勉強にもあてはまるものです。

(P) 要点をきちんとまとめていますか？ (D) 演習問題にチャレンジしていますか？ (C) 問題を解いたら答え合わせをしていますか？ (A) 間違えた問題に対し、なぜ間違えたのかを検証し、再チャレンジして次に解けるようにしていますか？ その後はまたPDCAの繰り返しです。

みなさんの勉強はどうでしょう。まず、きちんとPが出来ていますか？特に社会。要点まとめ(P)も無しに、いきなり問題(D)に取り掛かる人が多いように感じます。まずはまとめ(P)をしつかり終えてから、問題(D)に取り掛かりましょう。順番を間違えると点数は取れませんよ。そしてDの後のC。問題(D)を解いても、答え合わせ(C)をしなければ、何が出来たのか、何が分かっていないのかを明らかにしていきませんか？ 解答を見て、赤で答えを書き直すだけなんてことは、単なるお絵かきと変わりません。解答・解説を読み込んで、答えに辿り着くまでの道筋をしつかり理解するようにしましょう。しかし、解答を見てよく分からぬものもあるでしょう。そのときには、遠慮なしに先生のごとくに質問に来てください。



(姫野先生)



小中学部ゼミコース 四谷大塚NET通信

★四谷クラスの新学期がスタートして1か月！

新小4生、新小5生、新小6生の学年が2月からスタートして1か月が経ちました。塾生の皆さんは、少しずつ新しい学年の勉強に慣れてきましたか？ 新小4生は土曜日から週テストが追加され、算数と国語の勉強の成果が毎回確認されるようになってきましたね。毎回のテスト復習をしつかりして間違えた原因を理解すること間違えないようにするにはどうしたらいいか、そして応用ができるようにしつかりと演習も日頃から少しずつ積んでいきましょうね。

新小5生では小4生の頃と違って、より実践的な単元内容の学習になっています。ステップアップ方式にて既に前学年で習った内容を含めて学習を進めていくと言われても結構大変なものとなりますね。但し、これから待ち受ける中学受験では、まさに今皆さんが勉強している内容が多く出題されてきます。しっかりと頭の中に染み込ませていくように、漢字の読み書き練習、言葉の勉強、文章読解、算数計算、記述問題等の経験を積んで自分の力にして下さいね。

年では通常回や総合回(公開組分けテスト)の他に、合不合格判定テストというものも追加されてきます。このテストは自分の志望する中学校の合格率が明確に出されるものであり、県外受験を考えている生徒にとって、は特に重要なものとなります。全国レベルで自分自身が戦っているけるようしつかりと準備をしていきましょう。期待しています！

★春期学力テストにて中学部のクラスを再編します！

3月25日より春期講習会が小中学校にてスタートします。その中でも4月2日(日)に実施する春期学力テスト(対象学年:新小4・新中3)において、中学部の各学年でのクラスはそのままですが、春期学力テスト、学校での成績、勉強ペース等を考慮して見直しをかけていきますので、気合を入れて講習会に臨んでいって下さいね。また、新中2生(現中1生)の学年にて優秀選抜クラス(英数5)が1月よりスタートしています。このクラスも春期学力テストを通じて改めて選抜してまいりますので、英数5のメンバーは抜かれないうように、そしてさらに上を目指して行って下さい。

★新たなサブノートKing&Queenを発表しました！

新しくサブノートKing&Queenを現小4ゼミ・現中3ゼミクラスにて発表しました。そして、King&Queenに選ばれた生徒にはサブノート優秀賞という賞状が授与されます。この取り組みを始めるようになって3か月経ちましたが、特に小学生の子供達のサブノートが変わってきたように感じました。中学生の子供達のサブノートの見本にして、自分のサブノートの内容を自分なりに見直すようになったのだと思います。この調子で子供達同士がお互いに切磋琢磨してくれることを願っています。

(工藤先生)



サブノート King&Queen 発表！



ハイフレッド通信

2月1日から新学年へ移行し、新たにハイフレッドコースがスタートして1ヶ月が過ぎました。新中1の皆さんも少しずつではあるけれど、パソコン操作にも慣れてきたように思います。まだまだ緊張した面持ちで登校しているように思えるので、早く慣れてもらえるように先生たちもどんどん声をかけていきますね。

授業日以外にも登校して復習したり、授業を進めたり積極的に勉強している姿をみると頼もしく思えます。クラスの中のライバル達に負けたくないように頑張っている様子もよく見えます。

中1生は、『はじめからの基礎単語1200を仕上げる』を初回の課題としてだしています。これから英文法・長文の学習を進めていくうえで、英単語の意味を知っているかがどうか効率的に学習を進める重要なポイントになります。繰り返し学習をして覚えていくようにして下さいね。覚える方法はそれぞれ違うので、何度も書いて音読したり自分に合った勉強法を見つけていきましょう。また、数学においても課題の問題集を通して正負の数・文字式の計算が速く正確に出来るようにしましょう。これから数学を習っていく上で計算力が備わっていないと苦労します。間違えてしまった場合は、『どこかの過程がわかっていなかったからできなかったか』を振り返って学習を進めていきましょう。くれぐれも赤ペ

雑学知識にチャレンジ！

- (1) テレビの天気予報などでは降水確率0%の事を、ゼロ%とは言わず、レイ%という。それはなぜか？
- (2) 日本に隕石が落ちた場合、その所有権はだれのものになるのだろうか？
- (3) 地球が生まれた約46億年まえは、1日の長さは何時間だったのだろうか？
- (4) 鳥の卵がおおよそ楕円形の理由は？



お知らせ！
◎新中1生の学習時間変更について
中学入学まで16:50~20:00の時間帯を進めます。通常時間(18:45~22:00)に戻す時期については改めてご連絡します。(伊勢先生)

Core

「見渡せば淡雪花火橋の下 値千萬 両国の景」とはどこで覚えたのか、友人に尋ねても知らないという、ただ自分にとっては妙に印象に残っている句です。調べてみると吉宗の時代の川開きの様子だといくほぼ真暗。そこに開いた花火はどんなに明るく美しくいったらと思うんです。建物や人の「景」にスポットをあてることで、より明るさが強調されていて華やかです。語彙力がなくても簡単に映像が浮かび、そこがまた良い所でもあります。

一方、「朝顔につるべとられてもらい水」。先日の授業でやりました。こちらは多少語彙力を要しますが、はじめはどうか分らない。しかし、つるべというのはね・・・と言補うと子どもたちの想像が膨らみ始めました。井戸の釣瓶に朝顔のつるが巻きついていっているのが浮かび、隣家に水をもらいに行つたという作者の行動からその人の優しさにも気付いていきます。行動から心情を読み取るには想像力が欠かせませんよ。

語彙力があれば第一ハードル通過です。国語力は根幹をなすのが語彙力です。語彙力は想像力に発展します。笑福亭でない「つるべ」を知っていた人はそこから想像を始められたはず。日々の音読、漢字テスト、書写、自由読書、それから親子や友人との会話を通じて語彙力をつけていきます。語彙力はそれまで生きてきた知識の集大成です。小6上位者で約3万7000語、下位者で約8000語という統計があります。言葉を知る事が成績を上げる第一歩です。(武富先生)



名所江戸百景37 両国花火